

龍郷町手広海岸を自然の海岸として保存を求める全国署名

趣旨

このたび、龍郷町より『手広海岸園地整備計画(案)』が開示されました。当初は現在の老朽化したシャワールームを改造するというものでありましたが、開示された計画案を見ますと、砂浜にコンクリート製の階段ブロックを敷設する計画となっています。

手広海岸は、手つかずの自然、野生の姿のままの海岸、と日本でも珍しい場所のひとつであり、豊富な砂に生息する豊かな植物の数、とりわけ生い茂ったアダンが風と波から沿岸を守り、それだけではなく、野生動物の隠れ家にもなり、砂浜の安定と自然のサイクルに大変大きな役割を果たしています。

このコンクリート導入計画により、手広ビーチは大きな打撃を受け、自然のサイクルを壊されることとなります。まず、アダンの根が張っていたおかげで安定していた砂浜は、アダンが伐採されることにより、高さを失います。それが進むと、豊富な砂に覆われていた岩や石が表面に現れ、砂浜が徐々に消滅します。また、砂の埋め戻しを行っても、一回の台風でコンクリートの上のほとんどの砂は海へ流出します。そうすると、砂浜の幅、量が減少します。このように、人の手による誤った土地利用の結果、雨風の被害を直接受ける加速浸食が急激にすすむと、自然の探索と賞賛に基づいている観光地の奄美、その美しさに魅せられてやってくる訪問者、産卵に来るウミガメも姿を消すでしょう。

コンクリート建造物は、環境にダメージを引き起こす場合が多く、他の先進国では、このような加速浸食に対する認識が強く、沿岸をコンクリートで覆うことはせず自然のままに残しています。

一度、コンクリートで固められた海岸は、二度と自然の姿に戻すことが出来ません。整備という名目で行われようとしているこの計画は、自然破壊に繋がることとなります。手広海岸は龍郷町の自然遺産の一部として保存しなければなりません。現在の『手広海岸園地整備計画(案)』の砂浜部コンクリート整備を取りやめ、自然と共に共存を目指すため、以下のことを要請します。

要請事項

1. 現在の『手広海岸園地整備計画(案)』の砂浜部コンクリート整備を中止し、自然の海岸に手をいれないことを求めます。
2. 今後も龍郷町のある自然を維持し、自然のサイクルを維持できるように、可能な限り人工物で破壊しないことを求めます。

以上

